

OKM REPORT 2025

株式会社オーケーエム 株主通信

滋賀の企業だからできる、地球のことを考えた動き方がある。
 オーケーエムだからできる、持続可能な社会に向けた活動がある。
 私たちは、滋賀から世界へ様々な貢献ができるよう実践してまいります。

TOP MESSAGE

収益性を向上し
選ばれる企業へ

代表取締役社長
奥村 晋一

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
 ここに2025年3月期の事業報告と決算状況をご報告申し上げます。

2025年3月期の連結業績について

2025年3月期の連結業績は、売上高10,438百万円、営業利益783百万円(営業利益率7.5%)となりました。
 売上高については、前年同期比10.1%増と3期連続で過去最高を更新し、当社としてはじめて売上高100億円の大台を突破いたしました。
 営業利益については、仕入材料価格の上昇や人件費の増加などの影響を受けたものの、当社が得意とするカスタマイズ製品の販売増加による収益性の改善などにより、前年同期比17.3%増となりました。

2026年3月期の業績予想について

2026年3月期は、新基幹システムの本格稼働に向けた体制整備の期間と位置づけております。現在進行中の新基幹システム移行プロジェクトに伴い、一時的な生産効率の低下が見込まれるほか、仕入材料価格の上昇などの影響も重なり、増収減益となる見通しです。
 なお、配当金につきましては、当社の配当方針に基づき、1株あたり40円を予定しております。

Create200 第2次中期経営計画を発表

2025年5月、当社グループは、「Create200 第2次中期経営計画(2026年3月期～2028年3月期)(以下「第2次中計」)」を発表いたしました。

第2次中計は、2031年3月期に連結売上高200億円を目指す中長期ビジョン「Create200」の第2フェーズと位置づけています。2025年3月期までとしていた「変革期」を1年延長し、「成長期」への転換を図ります。また、従来の売上目標に加え、「Create200」として営業利益20億円の目標を新たに設定しました。

第2次中計では、売上高の拡大を追求するフェーズから、収益性の向上へと重点を移し、「既存領域の拡充」「海外市場の展開」「新領域への挑戦」の3つを基本戦略として決めました。これらを通じて、国内外における安定的な収益基盤の構築を図るとともに、グローバル市場で選ばれ続ける企業として持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。
 株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年3月期実績および
2026年3月期業績予想サマリー
(百万円、%)

	2025/3期実績			2026/3期業績予想		
	実績	売上比	前年同期比	予想	売上比	前年同期比
売上高	10,438	—	10.1	10,700	—	2.5
営業利益	783	7.5	17.3	680	6.4	▲13.2
経常利益	740	7.1	▲1.2	680	6.4	▲8.2
親会社株主に帰属する当期純利益	553	5.3	8.3	450	4.2	▲18.7
1株当たり配当金	45円 [普通配当 40円 特別配当 5円]			40円		

第2次中期経営計画
経営目標サマリー

中期経営計画最終年度
(2028年3月期)

連結売上高 132億円

営業利益率 10%以上

ROE 8~10%

第2次中期経営計画

第2次中期経営計画では、「売上拡大に加えて収益性にも重点を置く経営」への転換を掲げます。注力領域の選別や資源配分の最適化、グループ体制の再構築を通じて、変革から成長へのフェーズ移行を目指します。

基本戦略

第2次中期経営計画では、これまでの売上成長を重視する姿勢を引き継ぎつつ、コスト上昇や競争環境の変化を踏まえ、収益性への意識を一層高めていく経営への転換を図ります。その実現に向けて3つの基本戦略を策定します。



基本戦略Ⅰ

既存領域の拡充

船舶排ガス用バルブやLNG用バルブの販売を拡大するほか、脱炭素社会の実現に不可欠なアンモニア用バルブ、液化水素用バルブも開発して市場に展開。国内市場を深掘りし、技術力・営業力の強化によって顧客課題を解決します。

船舶排ガス用
バルブの
販売拡大

LNG用バルブの
販売展開

脱炭素社会を
見据えた
次世代製品の
開発と市場展開

DXを軸とした
生産性・収益性
向上

基本戦略Ⅱ

海外市場の展開

国内で基盤を構築した製品を軸にグローバル展開を加速し、海外売上高比率の向上を目指します。

組織の
グローバル統合と
機能強化

マーケティングの
強化

基本戦略Ⅲ

新領域への挑戦

新領域への挑戦によって新たな収益の柱を創出し、事業ポートフォリオを多角化します。

通信技術を
活用した新たな
ビジネスモデルの
構築

M&A・事業提携
による
成長機会の獲得

企業価値向上に向けて

2025年3月期末時点のPBRは0.58倍と、2021年5月以来1.0倍を下回る状態が続いています。一方でPERは改善してきています。企業価値の向上に向けて、3つの取り組みを行います。

PBRの改善

キャピタル・アロケーションの最適化

株主還元の強化

PBRの改善

B/Sマネジメントを含めた資本効率の改善に取り組み、資本コストを上回るROEの実現を目指し、エクイティ・スプレッドをマイナスからプラスに転換していきます。そして持続的な企業価値向上に向けた通過点として、まずはPBR1倍超を目指します。

PBRの向上

ROEの向上

- 売上高純利益率向上
- 総資産回転率向上
- 財務レバレッジ向上

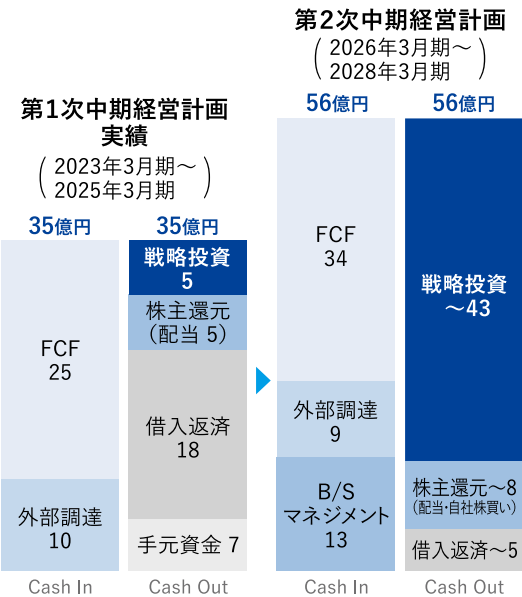
PERの向上

- 株主資本コスト低減
- 期待収益率向上

キャピタル・アロケーションの最適化

事業活動およびB/Sマネジメントにより創出したキャッシュは戦略投資に重点的に充当するとともに、株主還元方針の見直しによる還元強化や財務構成の最適化を進めます。

(単位:億円)



株主還元の強化

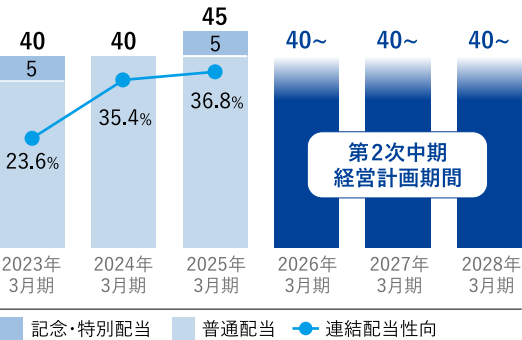
第2次中期経営計画期間中は、1株当たり配当金40円の維持・向上を基本とし、配当性向は概ね30%を目安に株主還元を実施します。配当による直接的な還元に加えて、成長戦略の着実な推進による中長期的な株価上昇を通じたトータルリターンを最大化を目指します。

株主還元方針

当社グループは、持続可能な成長と財務の健全性を両立させるバランスの良い財務戦略および資本政策を検討し、これを基に継続的かつ安定的な株主還元を実現します。

配当金・配当性向の推移

(単位:億円)



サステナブルな社会の実現に向けた、「いい流れをつくる。」企業として、オーケーエムグループが取り組んできた独創的な製品開発や取り組みが、さまざまな場面で高く評価されています。

「関西ものづくり新撰2025」に3度目の選定 ～独自機構を採用したアンモニア燃料船向けバルブ～

脱炭素社会を支える独自技術で注目

当社が開発した、アンモニア燃料船向け「ダブルフラップ型排気ガス処理装置用バルブ(ExVDF)」が、近畿経済産業局の「関西ものづくり新撰2025」に選定されました。今回の選定は、カーボンニュートラル社会の実現(GX)分野におけるもので、当社の製品が環境負荷低減に貢献する高性能な技術として評価された結果です。

「関西ものづくり新撰」は、関西地域の中小企業による優れた技術や製品を選定し、販路開拓や事業拡大を支援する取り組みで、今回で11回目を迎えます。当社はこれまでも2021年、2023年に選定されており、今回が3度目となります。過去には「海の豊かさを守る優れた製品賞」や「最優秀賞」といった高評価も受けており、継続的な技術革新が評価されています。

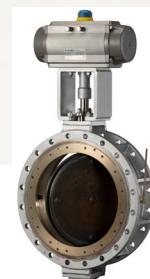
アンモニア燃料の課題を解決する 独自バルブ技術

今回選定された「ExVDF」は、脱炭素社会の実現に向けて注目が集まる、アンモニア燃料を使用した船舶の排気ガス処理装置に搭載されるバルブです。アンモニアは燃焼時にCO₂を排出しない次世代燃料として期待されていますが、

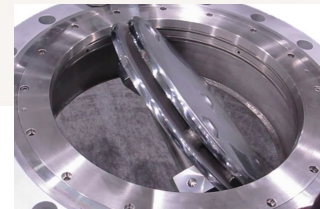
一方で、毒性のある未燃アンモニアや、CO₂と265倍の温室効果を持つN₂O(亜酸化窒素)の排出が懸念されます。これらの有害物質を確実に遮断するため、高いシール性能を持つバルブが求められていました。

「ExVDF」は、2枚の弁体の間に清浄空気を供給することで空気層を形成し、有害ガスの漏洩を防ぐ独自のダブルフラップ構造を採用。約500℃の高温下でも安定したシール性能を発揮します。これまで2台必要だったバルブを1台に集約できるため、装置全体の省スペース化・コスト削減・メンテナンス性向上にも貢献します。

当社はこのほか、アンモニア燃料供給装置用バルブや液化水素運搬船向けバルブの開発も進めており、産官学連携を通じて次世代エネルギーへの対応を強化しています。環境配慮型社会の実現に向け、引き続き技術革新を追求してまいります。



◀ダブルフラップ型バルブ「ExVDF」



◀独自の機構を採用

PURPOSE

いい流れをつくる。

目に見えるもの、見えないもの。
私たちは、あらゆる流体をつないでいる。
社会の課題を見つけ環境を考え、
働きやすく暮らしやすい世の中へ導く。
私たちは信じている。
独創的な技術で、いい流れをつくる。

社 是

1973年に制定した社是。
三方よしの考え方は、
会社設立当初より
受け継がれています。

- 一、独創的な技術
- 二、最高の品質 最低の資源消費
- 三、余裕ある生活と豊かな心
- 四、地域社会に貢献する

CORPORATE DATA

社名	株式会社オーケーエム
創業	1902年1月
設立	1962年5月31日
資本金	1,185,707,655円
従業員数	連結：357名 単体：255名 (2025年3月末時点)
本店所在地	滋賀県野洲市市三宅446-1
URL	https://www.okm-net.jp
株式上場	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード：6229)

